

第2章 人口と世帯

1 人口及び1世帯当たり人員の推移

平成29年10月1日現在の総人口は1,958,409人となり、前年と比べ7,972人減少した。

大正元年に初めて100万人台となり、以後増加を続け平成5年中には200万人を超えた。しかしその後減少に転じ、平成42年には1,796千人になると推計されている。

1世帯当たり人員は、大正元年に6.61人であったが、その後核家族化の進行とともに急激に減少し、平成29年には2.48人となった。平成42年には2.39人まで減少すると推計されている。

図1 人口・1世帯当たり人員の推移

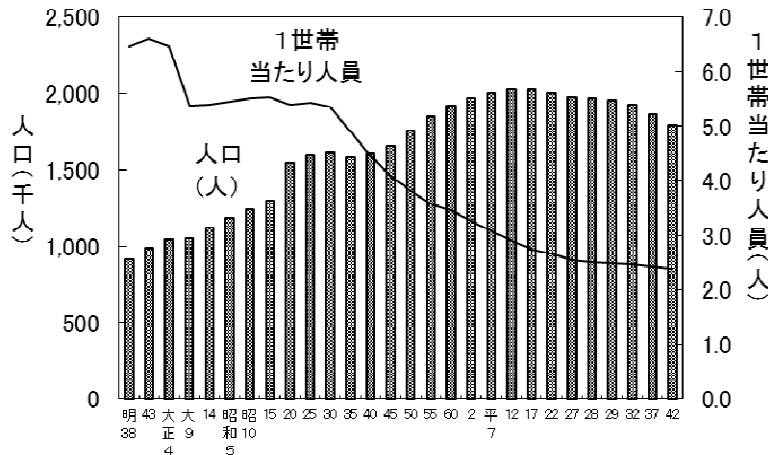


表1 人口・1世帯当たり人員の推移

	人口 (人)	1世帯 当たり 人員
明治38	915,740	6.47
43	988,241	6.60
大正4	1,042,279	6.47
9	1,052,610	5.38
14	1,118,858	5.40
昭和5	1,186,080	5.46
10	1,242,453	5.52
15	1,299,027	5.54
20	1,546,081	5.39
25	1,601,380	5.43
30	1,613,549	5.35
35	1,578,476	4.91
40	1,605,584	4.46
45	1,658,909	4.09
50	1,756,480	3.82
55	1,848,562	3.58
60	1,921,259	3.45
平成2	1,966,265	3.26
7	2,003,540	3.08
12	2,024,852	2.91
17	2,024,135	2.75
22	2,008,068	2.66
27	1,973,115	2.55
28	1,966,381	2.51
29	1,958,409	2.48
32	1,926,000	2.47
37	1,866,000	2.43
42	1,796,000	2.39

2 年齢別人口割合の推移

平成29年の14歳以下人口割合は12.4%、65歳以上人口割合は28.9%で、平成8年に65歳以上人口が14歳以下人口を上回って以来、その差は広がっている。

本県の65歳以上人口は、平成25年に25.8%（約4人に1人）に達しており、平成42年になると14歳以下人口割合が10.7%、65歳以上人口割合が33.1%と、65歳以上人口が14歳以下人口の3倍以上に広がると推計されている。

図2 年齢別人口割合の推移（群馬県）

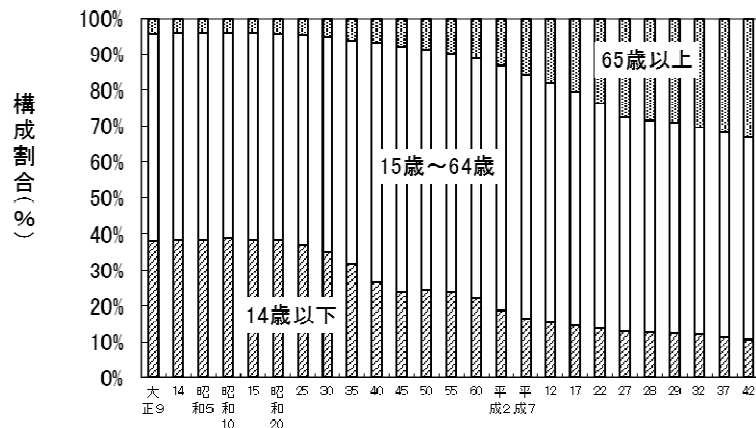


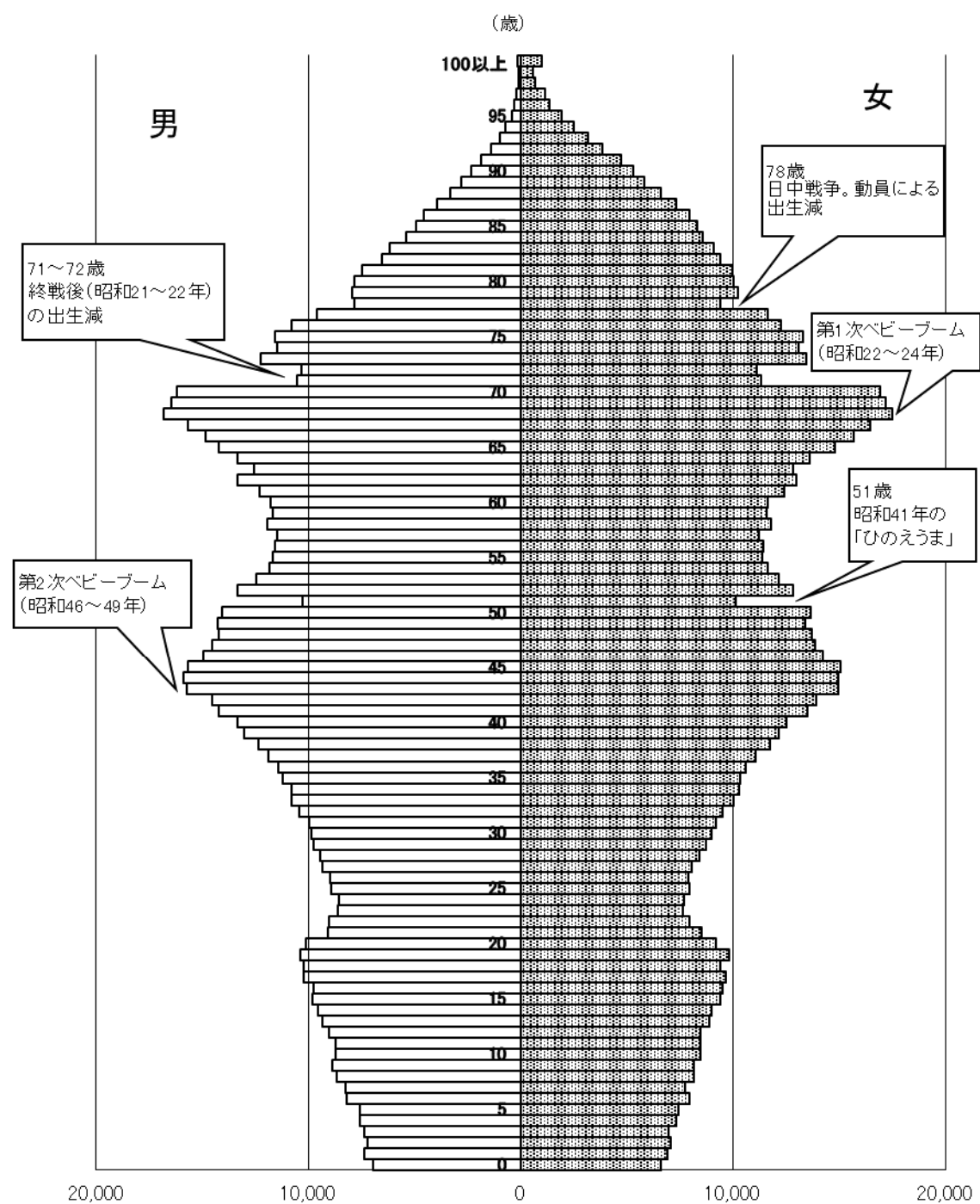
表2 年齢別人口割合の推移

	群馬県		全国	
	14歳 以下	65歳 以上	14歳 以下	65歳 以上
大正9	38.1	4.6	36.5	5.3
14	38.4	4.4	36.7	5.1
昭和5	38.4	4.3	36.6	4.8
10	38.9	4.3	36.9	4.7
15	38.2	4.4	36.1	4.7
20	38.4	4.7	36.8	5.1
25	36.8	4.8	35.4	4.9
30	34.8	5.4	33.4	5.3
35	31.7	6.1	30.0	5.7
40	26.4	6.9	25.6	6.3
45	23.9	7.9	23.9	7.1
50	24.3	8.8	24.3	7.9
55	23.9	10.0	23.5	9.1
60	22.1	11.2	21.5	10.3
平成2	18.7	13.0	18.2	12.1
7	16.5	15.6	16.0	14.6
12	15.2	18.2	14.6	17.3
17	14.4	20.6	13.7	20.1
22	13.8	23.6	13.1	23.0
27	12.8	27.6	12.6	26.6
28	12.6	28.3	12.4	27.3
29	12.4	28.9	12.3	27.7
32	11.9	30.4	12.0	28.9
37	11.1	31.8	11.5	30.0
42	10.7	33.1	11.1	31.2

(注) 本章の年齢別人口割合(%)には、分母となる総人口に、年齢不詳の人数を除いて計算している。

3 人口ピラミッド

図3 人口ピラミッド（平成29年10月1日現在）



（資料）群馬県年齢別人口統計結果（県企画部統計課）

（注）年齢不詳（総数16,425人、男9,914人、女6,511人）は含まない。

（人）